

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2019年8月14日
【四半期会計期間】	第130期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	イソライト工業株式会社
【英訳名】	Isolite Insulating Products Company, Limited
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 飯田 栄司
【本店の所在の場所】	大阪市北区中之島三丁目3番23号
【電話番号】	06 - 7711 - 5801（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 前田 真哉
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区中之島三丁目3番23号
【電話番号】	06 - 7711 - 5801（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 前田 真哉
【縦覧に供する場所】	イソライト工業株式会社東京支店 （東京都千代田区神田須田町二丁目8番地） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第129期 第1四半期連結 累計期間	第130期 第1四半期連結 累計期間	第129期
会計期間	自 2018年 4月1日 至 2018年 6月30日	自 2019年 4月1日 至 2019年 6月30日	自 2018年 4月1日 至 2019年 3月31日
売上高 (百万円)	4,079	3,855	16,770
経常利益 (百万円)	683	684	2,944
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)	466	507	1,474
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	403	480	1,251
純資産額 (百万円)	12,086	13,091	12,816
総資産額 (百万円)	18,664	19,151	19,142
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	19.80	21.54	62.62
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	61.8	65.3	63.8

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続いたものの、足踏み感があり、鉱工業生産においては、外需の弱さや在庫の高止まりを背景に力強さを欠き、一進一退の状況となりました。投資マインドは堅調に推移しましたが、米中貿易摩擦や中東での政治的緊張などもあり、先行き不透明感が増しています。

このような状況のもと、当社グループにおきましては中期経営計画（2018年度～2020年度）の2年目として、世界トップクラスの耐火断熱材メーカーとしての事業基盤の整備と、持続的成長に向けた新製品開発や海外事業の強化に取り組んでまいりました。

その結果、断熱関連事業におきましては、各種工業炉向けの販売は堅調に推移しましたが、自動車・半導体関連製品の販売が減少したため、当第1四半期連結累計期間の売上高は38億55百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

利益面におきましては、自動車・半導体関連製品の減収に加え、原燃料や人件費、輸送費のコスト上昇等の影響を受けた結果、営業利益は6億36百万円（同4.4%減）にとどまりました。一方、経常利益は営業外損益の改善により6億84百万円（同0.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は関係会社株式の売却により5億7百万円（同8.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### （断熱関連事業）

各種工業炉向けを中心に断熱関連製品の売上は堅調で、特に耐火断熱レンガの売上が拡大しました。一方、自動車・半導体関連向けのセラミックファイバー製品の売上が減少したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は35億33百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

#### （その他）

機能性セラミックス製品の売上が拡大しましたが、環境緑化製品及び建設関連資材の売上が減少したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は3億21百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は191億51百万円（前期末比8百万円増）となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。

負債合計は60億60百万円（同2億66百万円減）となりました。これは主に賞与引当金の減少によるものであります。

純資産合計は130億91百万円（同2億75百万円増）となりました。

以上の結果、自己資本比率は65.3%（同1.5ポイント増）となりました。

#### (3) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

#### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、86百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、新たに決定又は締結した経営上の重要な契約等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	51,259,000
計	51,259,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	23,606,573	23,606,573	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	23,606,573	23,606,573	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日	-	23,606	-	3,196	-	904

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】  
 【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 55,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 23,545,900	235,459	-
単元未満株式	普通株式 5,173	-	-
発行済株式総数	23,606,573	-	-
総株主の議決権	-	235,459	-

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) イソライト工業株式会社	大阪市北区中之島 三丁目3番23号	55,500	-	55,500	0.24
計	-	55,500	-	55,500	0.24

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,336	3,786
受取手形及び売掛金	2,486	2,454
電子記録債権	274	281
商品及び製品	1,795	1,810
仕掛品	371	488
原材料及び貯蔵品	561	582
その他	393	381
貸倒引当金	4	4
流動資産合計	12,090	12,436
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,310	1,320
機械装置及び運搬具(純額)	1,236	1,250
土地	1,663	1,663
その他(純額)	553	668
有形固定資産合計	4,764	4,902
無形固定資産		
投資その他の資産	161	158
投資有価証券	1,273	908
繰延税金資産	288	185
その他	639	635
貸倒引当金	75	76
投資その他の資産合計	2,126	1,653
固定資産合計	7,052	6,714
資産合計	19,142	19,151

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,129	2,136
電子記録債務	231	235
短期借入金	810	789
未払法人税等	311	107
賞与引当金	433	176
その他	958	1,175
流動負債合計	4,120	3,964
固定負債		
長期借入金	1,254	1,198
その他の引当金	57	33
退職給付に係る負債	522	508
その他	371	354
固定負債合計	2,205	2,095
負債合計	6,326	6,060
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,196	3,196
資本剰余金	2,254	2,254
利益剰余金	6,746	7,089
自己株式	11	11
株主資本合計	12,186	12,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	313	253
為替換算調整勘定	272	258
退職給付に係る調整累計額	17	15
その他の包括利益累計額合計	23	20
非支配株主持分	606	583
純資産合計	12,816	13,091
負債純資産合計	19,142	19,151



## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

( 単位：百万円 )

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,079	3,855
売上原価	2,561	2,371
売上総利益	1,518	1,483
販売費及び一般管理費	851	846
営業利益	666	636
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	14	15
受取賃貸料	3	3
為替差益	-	10
受取ロイヤリティー	-	10
持分法による投資利益	12	8
その他	11	10
営業外収益合計	47	62
営業外費用		
支払利息	5	4
休止固定資産減価償却費	3	3
為替差損	11	-
その他	8	6
営業外費用合計	29	14
経常利益	683	684
特別利益		
投資有価証券売却益	-	60
特別利益合計	-	60
税金等調整前四半期純利益	683	745
法人税、住民税及び事業税	145	111
法人税等調整額	51	110
法人税等合計	197	222
四半期純利益	485	522
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	466	507

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	485	522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	59
為替換算調整勘定	78	11
退職給付に係る調整額	2	2
持分法適用会社に対する持分相当額	15	3
その他の包括利益合計	82	42
四半期包括利益	403	480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401	463
非支配株主に係る四半期包括利益	1	17

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、Foster Engineering Pte. Ltd.を株式売却により、持分法適用の範囲から除外しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形裏書譲渡高	21百万円	16百万円

2 四半期連結会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期受取手形、電子記録債権、支払手形及び電子記録債務が、四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	203百万円	211百万円
電子記録債権	57	107
支払手形	22	30
電子記録債務	15	9

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	100百万円	105百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	141	6.00	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	164	7.00	2019年3月31日	2019年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	断熱関連事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	3,745	3,745	333	4,079	-	4,079
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	5	5	5	-
計	3,745	3,745	338	4,084	5	4,079
セグメント利益又は 損失( )	673	673	7	666	-	666

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境緑化事業、建材事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	断熱関連事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	3,533	3,533	321	3,855	-	3,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	5	5	5	-
計	3,533	3,533	326	3,860	5	3,855
セグメント利益	620	620	15	636	-	636

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境緑化事業、建材事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	19.80円	21.54円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	466	507
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	466	507
普通株式の期中平均株式数(千株)	23,551	23,551

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月14日

イソライト工業株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ 監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 浅野 豊 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 芦川 弘 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイソライト工業株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イソライト工業株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管している。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていない。